

みなさんから

11月25日付の1、3面「フロントランナー」には、萩大島船団丸代表の坪内知佳さんが登場しました。

「『100人中99人が敵というスタート』と聞いて、ジャンヌ・ダルクのような女性だなという印象を持ちました。



彼女のような人々が、斬新な発想で古い体質に風穴をあけて欲しい(千葉、58歳男性)、「漁師たちの中でスーツ姿でにっこりする女性の写真にひかれて読んだら、なんとも面白かった。彼女の行動力の素晴らしさはもちろんだが、漁業の素人のビジネスモデルを取り上げた萩の漁師の先見性は高く評価されている(東京、66歳男性)。

6、7面の「みちのものがたり」では、江戸時代からの農業用水路「本木上堰」を訪ねました。「お



金ではなく手を差し伸べることで、地方と結びつきたい都会人はたくさんいるのでは、と感じました(東京、45歳女性)、「見物料金のかかる紅葉の名所じゃなくても、いっさい手を加えていない自然そのもので、楽しめることを教えてくれる写真でした(東京、52歳女性)。

編集部から

人見豊先生へ

6、7面の「みちのものがたり 慶応日吉キャンパスの銀杏並木」の取材では、大変お世話になりました。

be紙面への投稿、お待ちしております

10面の「悩みのつぼ」「いわせてもらおう」へのご相談・ご投稿をお待ちしています。紙面でのご紹介は匿名ですが、住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。採用者には図書カード2千円分を差し上げます。

郵送なら〒104・8011 朝日新聞be相談・投稿係、Eメールはbeboshu@asahi.com、ファクスは03・5550・5107へ。

人見先生は芸能界を引退した後、大学で猛勉強し、1977年に慶応高校の教員になりました。私も、人見先生から中国語と漢文を習いました。お会いするのは、高校卒業以来ですから約33年ぶりでしたね。インタビューの際も、思い出話に花が咲き、4時間近くに及びました。

人見先生はいつも物静かで、穏やかでした。今でも鮮明に覚えているのが、日吉の陸上競技場でやった授業のことです。「隣の教室に迷惑なので、中国語の発音を大声でできるように」という名目だったと思いますが、実際は私たちを外に出し、息抜きをさせてくださったのでしょう。

芸能界を引退し、ずっとザ・タイガースの元メンバーとは会われませんでした。でも沢田研二さん(ジュリー)は、「もしかしたらピー(人見さんのこと)に会えるかも」と、先生の行きつけの飲み屋にときどき顔を出していたそうですね。人見先生に贈った曲「ロング・グッバイ」の最後の歌詞「一度酒でも飲まないか」を見た瞬間、涙が出てきました。

「君に会いたい」とメッセージを送る仲間たち。それに「道」という返歌を作詞・作曲し贈った人見先生。しかも、「この曲、お前のために作った」ということはお互いに一度も言っていないそうですね。「男同士、言葉はいらない」ということなのでしょう。

いま人見先生は、国境をまたぎ、音楽と文学を融合するお仕事をされています。くれぐれもお体を大事にされ、これからの人生が、ますます豊かなものになるよう、元教え子の一人として心から祈っています。(佐藤陽)

悩

回答

しているのであれば、間違いない
く恩師です。そうでなければ、
ば、恩師なのかどうか……。
しかも今回の件は、先生本

う人は、そもそも感謝するとい
うことがありません。だから、
ら、手伝ってもらっても、お
礼なんか言いません。むしろ

しますが、そんな人とは今後
一切関わり合いを持たなくて
いいと思います。
それから、こんなことを自

人の方々の関係の方が、大
切ですよ。先生の妹との関
係が壊れた方が、はるかに
いいと思います。